

世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ 第2回シンポジウム開催

2014年8月5日に土木学会国際センター主催の“世界で活躍する土木技術者シリーズ”第2回シンポジウム「フーバーダムバイパス コロドリバー橋」を開催しました。

本シンポジウムでは、日本の建設企業による海外大型プロジェクトが、当該国のみならず広く評価されている現状をとらえ、日本の土木技術および土木技術者の活躍を広く知っていただき、また将来の日本を担う若者たちにインフラ整備の意義や海外での仕事などを伝えるため、海外プロジェクトと、そこで活躍する土木技術者の紹介を行っております。

今回のシンポジウムは河原土木学会副会長の開会挨拶に始まり、前半は基調講演として、本プロジェクトにおいて第8回産学官連携功労者表彰を受賞された東京工業大学大学院の二羽淳一郎教授によるご講演のほか、本プロジェクトの発注者として当時プロジェクトマネージャーを務めた元米国連邦高速道路局の Dave Zanetell 氏からのビデオレターの紹介が行われました。また後半は実際にプロジェクトを遂行された大林組の福本勝司氏、定松道也氏、高德裕平氏の3名の土木技術者の方々からプロジェクトの概要をはじめ、ご担当された工事についてエピソードを交えながらご講演をいただきました。土木技術者としての視点からプロジェクトに携わった経験や苦労、そしてこれから活躍する若者へのアドバイスなど貴重なお話を頂戴しました。今回のシンポジウムには120名を超える参加をいただき、質疑応答では活発な意見交換が行われるなど、たいへん盛会でした。



二羽教授の基調講演



Dave Zanetell 氏からのビデオレター

国際センターでは“世界で活躍する土木技術者シリーズ”として今後も継続的に海外プロジェクトを対象としたシンポジウムを実施する予定です。第3回では清水建設のパハン・セランゴール導水トンネルをご紹介する予定としております。開催時期等につきましては、土木学会 HP 上にてご案内いたします。